

レオタックスの使い方

写真機を向けられると命が縮む…等と昔は云われたそうです。又つい先頃までは写真の撮影と云う事は特殊技術のように扱われて参りました。しかし現代では、何時でも何処ででもカメラ、写真と云うものが、私達の生活に密接な繋りを持つて来ています。



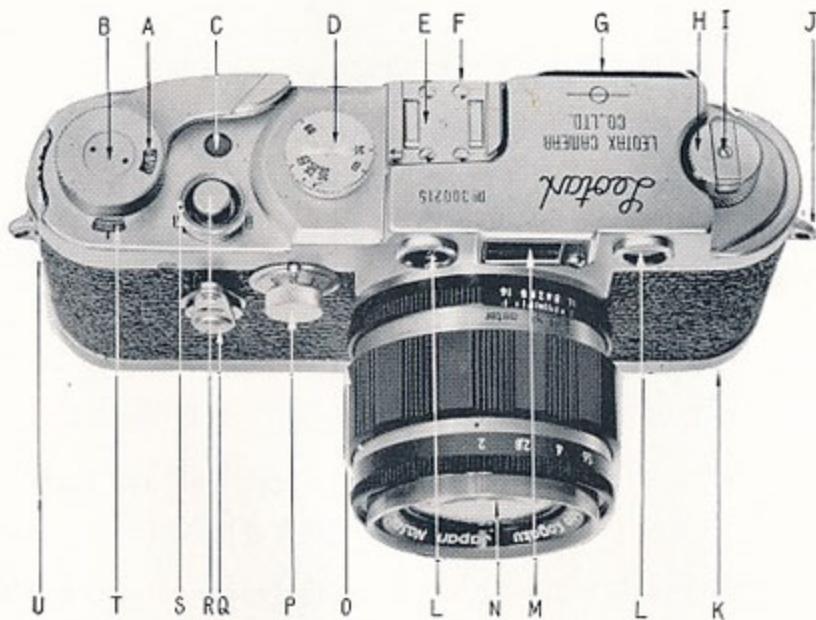
又、目的は色々ありますも、写真を撮ると云う事は単に写真を得る事に止らず、撮影する過程において広い視野、異った視角から、私達の身近な物、遠い事を見直し、採入れて行く事も無意識ながら私達の生活を、より豊かなものにして行く事と信じます。レオタックスカメラは国の中内外で製作される沢山のカメラの中の一種にすぎませんが、その中からお選び頂いた事は何か皆様とレオタックスカメラとの間に見えないキズナがあつたようにも思えます。

このレオタックスカメラは色々な方にも、どの様な目的にも充分な働きが発揮出来るように、長い歴史と皆様の声を反映させ、作つて参りました。カメラの使用法はもとよりカメラの構造に立脚した使用法が最もそのカメラの持つ性能を発揮させ得る訳ですが、御使いになる方々の性質や生活によつて自ら独自の技術が生れて参りましょう。又、余りに撮影方法はこうしなくてはならぬ、ああしてはならない、では気軽にカメラを楽しむ事（カメリング？）がおつくうになりますでしょう。ですからハイクラスの技術を御持ちの方にも始めてレオタックスカメラを持たれる方にも楽しく、又、フルに使つて戴く為に最も基本的なこの説明書を読んでいただき、そして皆様独特的の技術を生んで下さいますように。



## 目 次

頁



### レオタックス TV2 型各部名称

A フィルムインデケーター	K 底 蓋
B 捲上げレバー	L 距離計対物レンズ
C 捲戻し確認マーク	M ファインダー対物レンズ
D 高速度シャッターダイヤル (B, 1/30~1/500秒)	N レンズ
E アクセサリークリップ	O レンズヘリコイドレバー
F シンクロターミナル	P 低速度シャッターダイヤル (T, 1~1/30 秒)
G 距離計及びファインダー接眼レンズ	Q セルフタイマーレバー
H 捲戻しクランク	R シャッターボタン
I 捲上げ確認マーク	S フィルム進行切換リング
J ストラップ取付環	T フィルムカウンター窓
	U フィルムカウンター



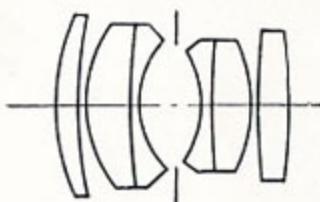
▷ レンズについて.....	6
▷ フィルムの装填.....	7
(フィルム, マガジン, フィルムをマガジンに, マガジンをカメラに, フィルムインデケーター, フィルムの捲戻し)	
▷ シャッター .....	11
(フィルム枚数計, BとT, セルフタイマー)	
▷ 紋について .....	13
(被写界深度, 赤外撮影, フィルム面指標)	
▷ 距離計とファインダーについて .....	17
▷撮影 .....	18
(シャッターを切る場合, フラッシュシンクロナイザー, 二重多重撮影)	
▷ 交換レンズ .....	12
(トプロブリリアントファインダー)	
▷ 豆辞典.....	25
(カメラの保存, レンズ・フィルター・皮ケースの手入れ, 故障について, カメラの紛失, 盗難について)	
▷ 楽しい写真 .....	29
(フィルムについて, アクセサリーについて, 家庭写真)	

## レンズについて



トプコール-S F:2 f=5 cm

最近の写真レンズには、平面を鮮明に描写するだけでなく、立体を平面に写してその画面上に、立体を心地よく再現する縦深描写力が要求されてきました。このレンズは特にこの点に留意して新しく設計されたバランスの最も美しいレンズです。レンズは6枚4群構成で、種元素を含む新種ガラスの採用により、従来ガウス型の欠点とされていた像面彎曲、フレアーアを30%減少させて、中心から画面の隅部迄均一な解像力を有する像面特性の良好なレンズです。無限遠から最近距離迄全域にわたって、ライカ判レンズの標準性能とされているテッサー型に優る性能をもっています。



レンズ構成 6枚 4群  
鏡筒 固定型直進式  
最小絞(等間隔) f: 16  
距離目盛 1~10mt. ∞  
包括角度 46°  
アタツチメントサイズねじ込み  
40.5mm

レンズを着脱する時はカメラをしつかり保持して、外す時は時計の針の動く逆方向に廻し、装着する場合は一度逆方向に軽く廻しますとネジがありますからそれから時計の廻る方向に止る迄しつかり廻します。



## フィルムの装填

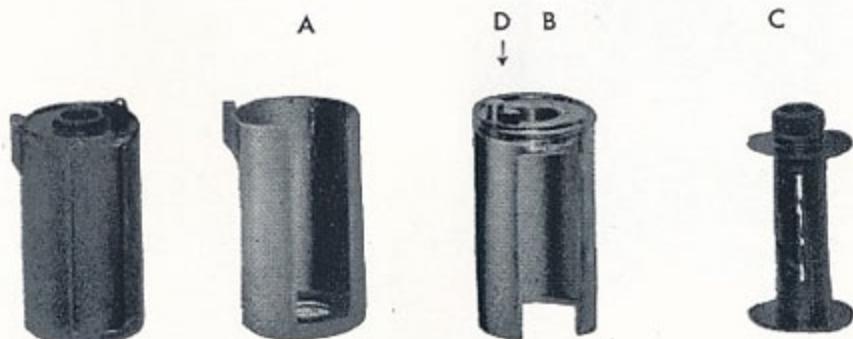
### ▷ フィルム

レオタックスカメラに使用する35mmフィルムは各種発表されておりますが、パトローネ入りのもの、罐入りの生フィルム、イージーローディングフィルムも使用可能です。36枚乃至20枚撮影用のもの以外の長尺フィルム御使用の場合は図のように両端を切つて下さい。



### ▷ マガジン

レオタックス専用マガジンは外筒A、内筒B、スプールCからなつており、安全バネDを押しながら上部を廻す事によつてA、B、Cにわけられます。



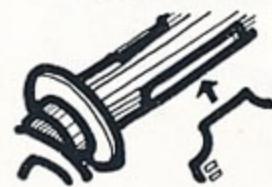
## ▷ フィルムをマガジンに

生フィルムをマガジンに装填するには暗室で次の仕事をせねばなりませんが馴れぬうちはフィルムに指紋や傷を付けがちですから充分練習して下さい。

底蓋の開閉鍵をおこし OPEN の方向に廻して引上げますと底蓋が外れ、左右にマガジンと捲取りスプールが入っています。



(イ) 安全バネを押して右の方にスプールを廻しますと外筒と内筒の窓が合つて三つにわけられます。



(ロ) スプールを右手にもち必らずつまみを手前に向けて。フィルムのまいてある外側の方を手前にむけて V型に切つた方をスプールの挿入口からさしこみます。



(ハ) フィルムの膜面を内側にして堅く巻き、ゆるい時は内側に入らなさいともあり、あとから巻きしめますとフィルム面に傷がつきます。



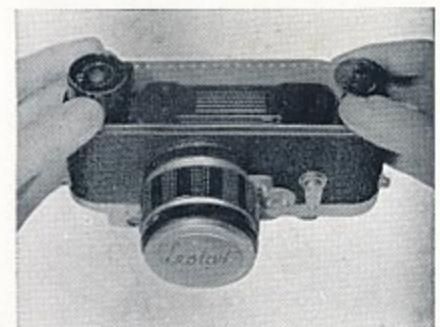
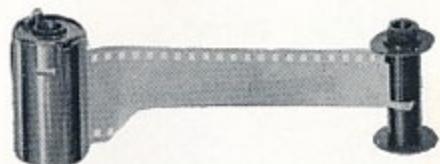
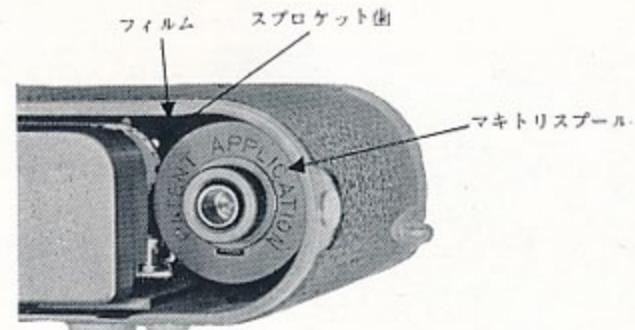
(ニ) まきおわりましたらつまみの方から内部に挿入します。なるべくフィルムにはさわらない方がよろしいです。



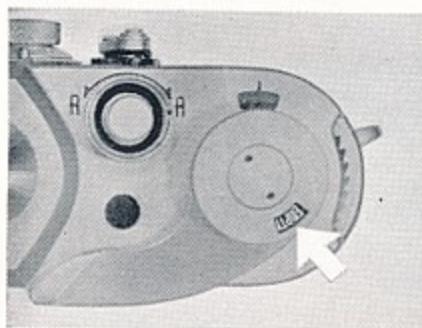
(ホ) 次に外筒に入れフィルム端を窓から少しひきだしたままつまみを左にカチンという所までまわします。ここで電気をつけても大丈夫です。

## ▷ マガジンをカメラに

換取りスプールのバネの下にフィルムの端を（膜面は手前に向けて）堅く差込みます。次の図のように両手にマガジンと捲取りスプールを持ち同時にカメラに装填致します。マガジンが入らぬときは捲戻しクラシックを少し廻しますと入るようになります。切換リングの指標が A 印にあるのを確かシャッターをおしてから捲上げレバーを捲上げながらフィルムの耳孔をスプロケットによくかみあわせ、底蓋をかぶせます。底蓋内部の突起がマガジン上部の安全バネを外し開閉鍵を LOCK 方向に廻すに従つてマガジンは内部で開きフィルムに傷つける事なく送られるわけです。フィルムを捲上げシャッターを切り、これを二度繰返しますと感光しないフィルムが送られてきます。次にフィルムカウンターを動かしカウンター窓に36枚撮りフィルムならば36を表示させます。次に捲上げレバーを廻しても捲上げ確認マークが廻らぬ時はフィルムが送られていませんから捲戻して装填し直さねばなりません。

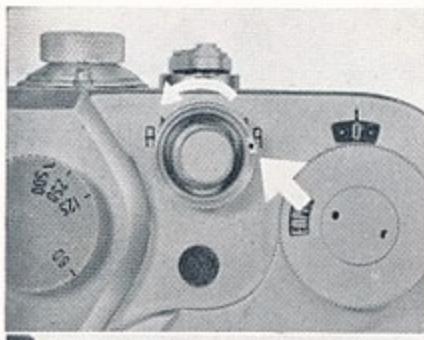


## ▷ フィルムインチケーター

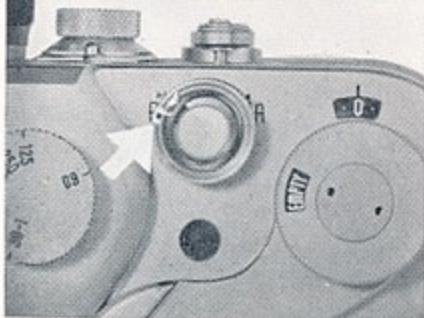


フィルムの装填が終りましたらそのフィルムのASA感度を捲取りノブ上部のフィルムインチケーターにメモしておきます。多種のフィルムを使用する場合便利です。感度の数字はクリック式に止ります。カラーは赤文字で記入されています。

## ▷ フィルムの捲戻し

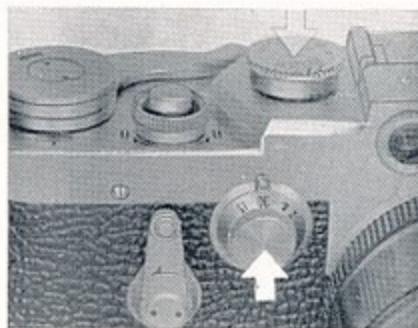


撮影を終られましてフィルムを捲戻すには、まず切換リングをA印からR印に廻してから捲戻しクランクをひきおこして時計の針の方向に捲戻します。一枚捲戻す毎にフィルム捲戻し確認マークが一廻転致します。捲戻しが終る時、スプールに差込んだフィルム端によつて少し抵抗があります。空まわりを感じましたならば切換リングをA印に戻して底蓋を開きます。



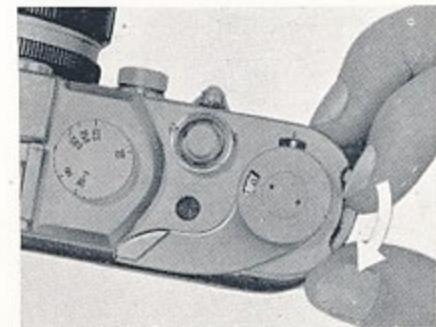
## シャッター

B(バルブ), 1/30, 1/60, 1/125, 1/250, 1/500秒のシャッターダイヤルはカメラ上部に, T, 1, 1/2, 1/4, 1/8, 1/15秒のシャッターダイヤルは前部についています。上部の高速シャッターはシャッターを捲上げてから、持ちあげて指標にあわせて落し込みます。高速シャッターを用いる時は低速シャッターは1/30秒の所において下さい。低速シャッターを用いる時は高速シャッターを1/30秒の所におきます。低速シャッターはシャッターはクリック・ストップ式です。目盛りはT, Bを除き、倍数系列に作られていますから、等間隔絞とあいまつて精密な露出を考えられましょう。ダイアルの数字は分母を表わします。



## ▷ フィルム枚数計

フィルムの装填を終り、からうつしを二枚してからフィルムカウンターを矢印の方向に廻してフィルム枚数計を36枚撮りならば36に、20枚撮りならば20にあわせますと一枚撮影毎に逆算式に一コマづつ移動して残るフィルム枚数を示してゆきます。

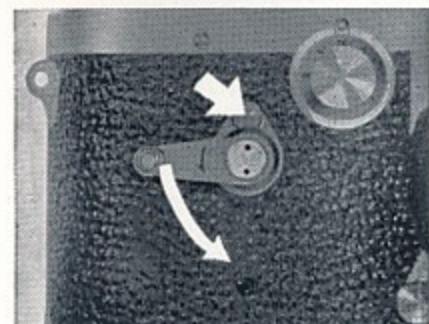


## ▷ B(バルブ)とT(タイム)

Bの場合、低速度ダイアルは30の所におき、高速度ダイアルのBを指標にあわせます。Bはシャッターボタンを押している間、シャッターが開いています。Tの場合、高速度ダイアルは30-1の所におき、低速度ダイヤルのTを指標にあわせます。こうしてシャッターを切るとシャッターは開いたまま止ります。低速度ダイヤルの30を指標にあわせるよう廻転させるとシャッターは閉じます。B,T共に顕微鏡写真、天体写真、夜景写真等に用いられます。

## ▷ セルフタイマー

シャッターを捲上げる前でも、捲上げたあとでも、カメラ前部にあるセルフタイマー レバーを $180^{\circ}$ 矢印の方向に廻転させ(シャッターをセットして)、レバーのかげにあるスタートボタンを押しますと、10秒の間隔をおいてシャッターが切れます。 $90^{\circ}$ 以上ならばレバーの位置によつて時間を加減出来ます。



## 絞について

トヨコール S F/2 f=5 cm 標準レンズには図のように種々目盛りがついています。絞目盛は下の表の様な関係になつています。シャッターの値と共にカメラに入る光量を加減します。下の表は絞8で1/125秒が適正露出だとしますと、絞を5.6にした時は1/250秒のシャッタースピード、絞を11にした時は1/60秒のシャッタースピードが正しいと云う事を表しています。絞は又被写界深度(焦点深度)を利用するのにも用いられます。

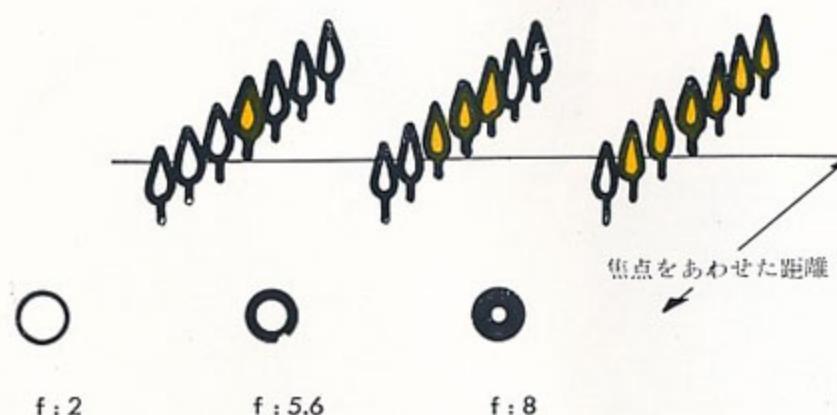


絞	2	2.8	4	5.6	8	11	16
露出比	1	2	4	8	16	32	64

## ▷ 被写界深度

被写界深度とは、引伸し写真の差支えない僅かなボケを無視すれば、焦点を合せた被写体より前後の範囲は焦点が合っているということで、この範囲は絞る程深くなります。之を利用して距離の違う被写体に同時に焦点をあわせたり、又不要のものをぼかしたり自由に選定致します。被写界深度はレンズの焦点距離によって違います。焦点距離の短いもの程深く、長いもの程浅くなります。

下図の左端はレンズ解放で焦点を真中の木に合せた場合の被写界深度を色で表わしました。中央は焦点と同じ木に合わせ絞を 5.6 にした時の深度で、右端は同じく  $f:8$  に絞った場合です。図のようないくつかの絞りで被写界深度を比較して下さい。絞りが大きいほど被写界深度は広くなります。しかし絞れば深度が深くなりピンボケの心配はなくなりますが、絞りすぎるとシャッター速度を遅くせねばなりませんのでカメラブレをおこしやすくなります。又同一絞でも距離の遠い程、被写界深度が深くなることも次頁の表でおわかりになると思います。



## ▷ トプコール S F/2 $f=5\text{ cm}$ レンズ

被写界深度表 (単位米) 錯乱円 0.03 mm

絞 距離	1:2	1:2.8	1:4	1:5.6	1:8	1:11	1:16	1:22
1	0.98~ 1.02	0.97~ 1.03	0.96~ 1.05	0.94~ 1.07	0.91~ 1.1	0.89~ 1.15	0.84~ 1.23	0.79~ 1.35
1.2	1.17~ 1.24	1.15~ 1.25	1.14~ 1.27	1.11~ 1.3	1.08~ 1.35	1.04~ 1.42	0.98~ 1.55	0.91~ 1.75
1.5	1.45~ 1.56	1.48~ 1.58	1.4~ 1.62	1.36~ 1.67	1.31~ 1.75	1.25~ 1.87	1.17~ 2.1	1.08~ 2.48
2	1.91~ 2.1	1.87~ 2.15	1.82~ 2.21	1.76~ 2.31	1.68~ 2.49	1.58~ 2.72	1.44~ 3.26	1.31~ 4.3
2.5	2.36~ 2.66	2.3~ 2.73	2.23~ 2.85	2.14~ 3.01	20.1~ 3.3	1.87~ 3.75	1.68~ 4.9	1.5~ 7.5
3	2.8~ 3.24	2.72~ 3.34	2.62~ 25.1	2.49~ 3.77	2.32~ 4.24	2.14~ 5	1.89~ 7.2	1.7~ 15.0
4	3.6~ 4.4	3.5~ 4.6	3.3~ 5	3.1~ 5.5	2.9~ 6.66	2.6~ 8.7	2.2~ 18.5	1.9~∞
8	6.7~ 10	6.3~ .11	5.7~ 13.2	5.2~ 17.9	4.5~ 38	3.8~∞	3.1~∞	2.5~∞
15	10.9~ 24	9.9~ 31	8.6~ 58	7.4~∞	6~∞	4.9~∞	3.8~∞	3~∞
30	17.6~ 101	14.7~ ∞	12.1~ ∞	9.7~∞	7.6~∞	5.9~∞	4.3~∞	3.3~∞
∞	40~∞	29~∞	20~∞	14~∞	10~∞	7.3~∞	5~∞	3.7~∞

## ▷ 赤外撮影

赤外フィルムと、赤外フィルターを使用することによつて赤外線写真が撮れます。この際、距離計で距離を合わせてからその目盛を被写界深度目盛中のR記号(P. 13参照)の所迄ずらして合わせます。赤外線は不可視光線で普通焦点目盛とは屈折率の相違で、それが生じますので、そのそれをR記号で匡正するわけです。

## ▷ フィルム面指標

カメラのレンズに刻まれた距離目盛は、すべてカメラ内部に装填されたフィルム面を基準として測つてあります。近接撮影、複写、その他の便宜の為に、レオタックスでは図の様に $\ominus$ のマークを刻みフィルム面を指示しています。



## 距離計とファインダーについて

レオタックスカメラは距離計接眼レンズとファインダー接眼レンズと別々になつてゐる二眼式です。接眼部に向つて左側が距離計用の窓です。

レオタックスの距離計は、基線長 38.2 mm 倍率 1.5 倍(実効基線長 58mm)のプリズム式ですから望遠レンズの 135 mm に迄運動可能です。レンズは撮影レンズと同様ハードコーティングを施した明るい光学系を持つて居ります。

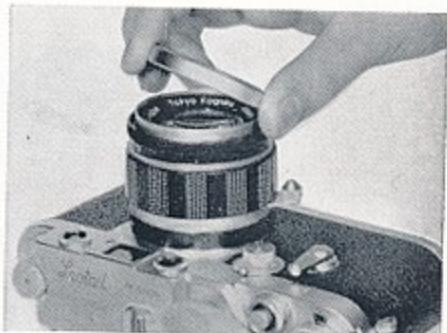
又距離計は前記被写界深度を利用する際、目的物の距離を正確に測る為にも用います。

距離計を使用するにはレンズのヘリコイドレバーを押しながら廻転させます。ヘリコイドの伸長につれてカメラ内部のコロが運動して距離計をうごかします。

ファインダーは光像式で内部のプライトラインは射影画面の90%を示します。

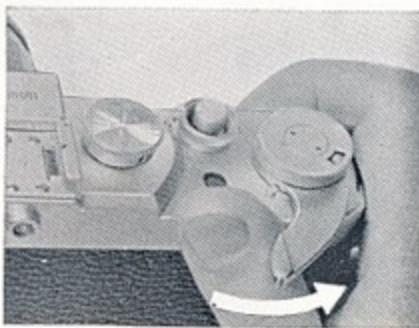


# 撮影



レンズキャップを外します。

シャッター(フィルム)を捲上げます。捲上げレバーは格納位置から25度フリーになっており、その位置から140度一作動です。



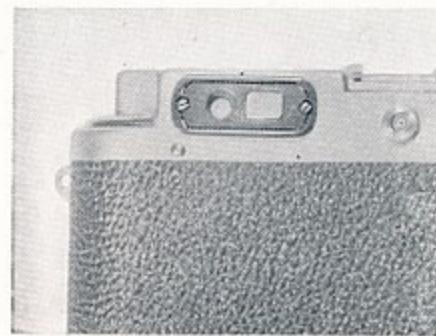
シャッタースピードを決定します。

絞値を指標に合せます。



ファインダーを観て、次に距離計で被写体にピントをあわせます。

再びファインダー窓で構図をきめシャッターボタンを押します。

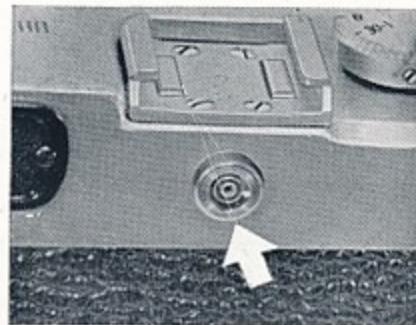


## ▷ シャッターを切る場合

横位置の時は人差指、縦位置の時は拇指で押すのが普通です。他の指でカメラをしつかり保持して指の腹で軽くおさえる様にシャッターを切ります。低速度シャッターやバルブ露出の時は必ず速写ケースからカメラを取り出して、三脚に固定してケーブルレリーズを使用すれば、カメラブレは防げます。ケーブルレリーズはシャッター鉗とフィルム進行切替リングとの間の下にあるネジにねじ込みます。なおシャッター鉗を押も際はシャッターダイアルに指が触れぬようにします。



▷ フラッシュシンクロナイザー



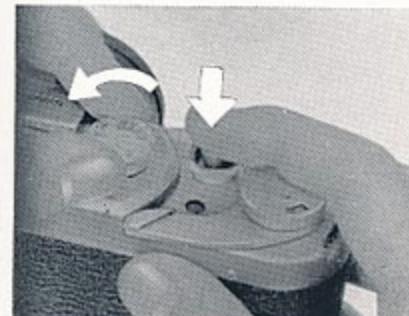
シンクロ撮影を行うにはコードを用いてガンとカメラを接続致しますがプラグはドイツ式になつております。レオタックスのフラッシュシンクロナイザーは内部でシャッターに同調致しますが1/60秒より早いシャッターを切る時はFP接点に、(目盛数字は黒)1/30秒より遅いシャッターを切る時にはX接点に(目盛数字は緑色)と自動的に切換わりますからバルブの使用は下記の表を守つて下さい。

シャッタースピード	目盛の色	自動切換になる接点	フラッシュバルブ
1/500～1/60秒	黒	FP	FP級 大型中型 小型
1/30秒	緑	X	ストロボF級M級

接点のテストは高低速度共にシャッターを捲上げたのち、シャッターを押したまゝダイアルを軽くおさえながらシャッターを切れば判ります。以上はテスター、又はフラッシュガンにテストランプをつけて行います。バルブを取付けたまゝシャッターを捲上げても安全スイッチにより発光の心配はありません。

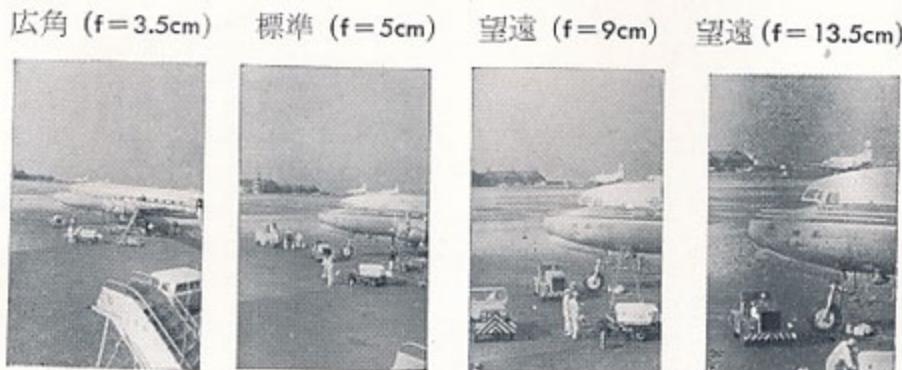
▷ 二重・多重撮影

レオタックスは二重撮影が完全に防止されておりますが、モニタージュその他必要な場合は、一度撮影したフィルムを捲上げず、切れたままのシャッターを押しながら、高速度シャッターダイヤルを押しつけるように時計の針の逆方向に止る迄廻転させシャッターを押していた指から先にはなし、改めてシャッターを切れば二重撮影が出来、これを繰返せば多重撮影も可能です。



## 交換レンズ

レオタックスTV2型には、ライカマウントのレンズはすべて交換可能で完全に連動致しますから被写体に依つて各種レンズを使用され充分に機能を發揮させて下さい。弊社では、定評ある東京光学のトプコールレンズ群の他に世界的水準を持つ富士フィルムのフジノンレンズを揃えております。



レンズ名	レンズ構成	包括角度	絞(f)	倍比率	距離目盛	鏡筒	アタッチメントサイズ
Topcor S 50 mm 標準レンズ	6枚	46°	2~16 等間隔	1×	1~10.∞ (m.)	直進式	40.5 mm φ
Fujinon L 50 mm f:2 標準レンズ	6枚	45°	2~22 等間隔	1×	1~20.∞ (m.)	"	43 mm φ
Fujinon L 50 mm f:2.8 標準レンズ	5枚	46°	2.8~22 等間隔	1×	1~20.∞ (m.)	回転式	36 mm φ
Topcor 90 mm f:3.5 長焦点レンズ	3枚	27°	3.5~22	1.8×	3.5~100.∞ (ft.)	"	34 mm φ
Topcor 35 mm f:2.8	6枚	64°	2.8~16 等間隔	0.7×	3.5~50.∞ (ft.)	直進式	40.5 mm φ



## ▷ トブコプリリアントファインダー



(A)



(B)

レンズが大口径になるに従い、フード、フィルターをつけますと、ファインダーが非常に見にくくなります。そこで考えられたものがこのアルバタファインダーです。等倍の大きさと明るい視野の中に(A)は50ミリ用、35ミリ用のワクが、(B)は50ミリ用、90ミリ用、135ミリ用のワクが見えます。御使いになつてその便利さと快適さに一驚なさると思います。

(A) 50ミリ、35ミリ用

(B) 50ミリ、90ミリ、135ミリ用



## 豆 辞 典

### ▷ カメラの保存

カメラは精密機械ですので、湿気や埃を嫌いますから、御使用に充分気をつけて戴くと共に、御使用外の時もシリカゲルと共にしまわれる等御注意下されば、永久によい仕事の友となる事でしょう。

### ▷ レンズ、フィルター、皮ケースの手入れ

レンズは精巧な構成ですから取扱いに、充分な御注意が必要です。打ちつけたり、落したりすることは絶対にせぬように気をつけて下さい。又湿気や埃はレンズの大敵ですから撮影時以外はレンズキャップをかけて置きます。又常に埃よけにUVフィルターをはめる方もありますが、フィルターはレンズの一種ですから、これに埃や傷がついては何の効果も無いことになります。フィルターは感色性を整える為のもので、それ以外には使用されない方がよいと思います。



一刻の楽しい撮影が済みましたらレンズ及びファインダー窓、フィルター等を充分御手入になることです。これにはよく洗つて脂氣と石鹼分を除いた晒木綿の布か、レンズ刷毛を使用致します。



先ず表面の埃を払い落し、次に割箸の様な細い棒の先に晒木綿を巻きつけて、レンズの周辺から中心に向けて渦巻型に清拭します。その際市販のレンズクリーナー、又はアルコール3,エーテル7,の混合液（湿度等の変化によって比率は多少変ります）等をお使いになると一層便利で綺麗になります。最初馴れないうちは拭きむらが残りますからその点御留意下さい。レンズキャップの内面も良くごみを払い、キャップを冠せて乾燥した所に置きます。又梅雨期のような湿気の多い時は速写ケースからカメラを取はずし、別にしておくことです。ケースは湿気を呼びやすく黒の生え易いものですから別に皮革製品としての御手入れが必要です。

#### ▷ 故障について



カメラをお買上げいただけますと愛用者カードが入っておりますこのカードに御記入の上本社宛御返送いただけますと、係が整理の上保証カードを御手元に御送り致します。保証カードを御示しいたゞければ普通に取扱われておこりました故障は無料で修理を致すことになつております。なおカメラが故障をおこした場合は、お買上の店を通じても、又直接本社、出張所宛お届けいたゞければ早急に修理致します。

故障の種類は種々ありますが、比較的多いことは衝撃による距離計の狂い、フィルム装填の不完全から、フィルムスプロケット穴が切れ、フィルム屑がカメラ内部に残り、捲上げの際、ひつかつたり、傷をつけたりする事及びそこから起るシャッターの不調が多いようです。

暑熱、耐寒、振動試験も行つておりますが、温度の急変する場合、冬季例えは、山小屋の燃えさかるストーブの傍から、屋外のマイナス度の中に、と云うような極端な時にはシャッタースピードが不調になる場合や、カメラ内部、レンズ内部と外気との温度差からレンズやファインダーが曇る場合もありますから御注意下さい。同じ意味で、夏季は、長時間、太陽の直射下に置く事もカメラにとつてよくありませんし、皮ケースやレンズキャップなしで肩からカメラ

を下げていて知らぬうちにレンズが太陽にむいている場合など往々にしてあります。御存知のようにレンズはフィルム面に焦点を結ぶように作られておりますから、フォーカルブレインの幕に焼こげを作り、原因不明の光線もれという事になります。

海水についた場合などは、なるべく早く、水洗し、ベンジン、シンナー等に漬け、カメラ店が本社宛御届け下さい。海水に直接おちないでも、潮風に長時間当たった時や、雨の日の撮影のあとはよく御手入れいただきませんと思わぬ錆や、レンズにカビ等が生じます。但し油類は使わないで下さい。



#### ▷ カメラの紛失、盗難について

カメラの紛失、盗難の場合は警察に届けられると共に、御買上の店に至急連絡されると材料商組合内の連絡網で発見出来る場合も多いようです。こうした万一の場合の為にも、貯金通帳、時計の番号と共にボディナンバー、レンズナンバー等をメモなさるとよいと思います。

## 楽しい写真

カメラ君との楽しい生活、気のあつた仕事を 100% なさる為には種々の知識や技術が必要となります。今更ここで申上げる迄もなく、皆様はマスターしていられる事と思いますから、ここでは幼稚ですが身近な楽しみ方や変った撮り方を考えてみました。

#### ▷ フィルムについて

フィルムの種類は非常に多いのですが、感光度の事、粒子の事、特殊フィルムの事(赤外フィルム、ポジフィルム、コピーフィルム)等を被写体にあわせてお使いになる事は、よい結果を生むもとですが、考えを変えて、全然被写体に不適のフィルムをお使いになる事も、異なる興味ある写真が生まれましょう。カラーフィルムの場合も、被写体の持つ美しさを再現する事と別に、カラーフィルムの持つ現実と違う色の世界での色彩効果を考えた写真も美しい芸術品となり得ると思います。又、自家現像の出来る内式ボデーフィルムの場合は、その操作上での種々の技術で幻想的な変化のあるカラー写真も得られます。

#### ▷ アクセサリーについて

アクセサリーはおもちでなくとも良い写真が撮れます。アクセサリーを自由に駆使する事によってより素晴らしい作品を生めると思います。

## ▷ 家庭写真



写真の何より目的に叶つた、写真らしい写真は、スナップ写真と記念写真と思います。記念写真と申しましても、写真スタジオでお撮りになる写真と異なるのは勿論、むしろもつと暖かな、もつと自由な、もつと本当の意味で記念になる写真のことです。愛する人々、なつかしい風景——それを貴方の心で撮つていただきたいと思います。アルバムにお貼りになる丈でなく、御便りのかわりに、クリスマスカードに、その他、カメラの傍く仕事は沢山あるような気が致します。又撮影から印画紙迄の間の D,P,E, を御自分でなさる面白さも、(写真屋さんにしかられるかも知れませんが) 又格別です。失敗から新しいアイデアが生れ、ハイキー、ローキーからソラリゼーション、ペンデュラム、レチキュレーション、リーフフォト、デフォルメーション、モンタージュ等の技術も決して難しいものではないようです。

又、撮影されたネガは手数でも密着を必ず作られると共に整理してしまつておかれる事をおすすめ致します。

最後に、レオタックスカメラを使われて、樂しかつた話題、困られた事、その他感じられた事等を、御遠慮なく、当社宣伝課迄御寄せいただくよう御願い申上げます。

レオタックス各型、交換レンズ、アクセサリー等、詳細を御知りになりたい方は、下記の住所に御知らせ下されば、カタログを御送付申上げます。



## レオタックスカメラ株式会社

本社・工場 東京都葛飾区新宿町 4-919 (TV2 係)  
電話 葛飾 (697) 1156(代)~8

銀座出張所 東京都中央区銀座東 8-1 (丹羽ビル) (TV2 係)  
電話 (54) 5751~5・8286

大阪サービス  
センター 大阪市南区塩町通 2-20 (TV2 係)  
電話 (大阪 26) 6165~6

**レオタックスカメラ株式会社**